



月の光が空を明るく照らしています。満月の中、月のうさぎが楽しそうに、おもちをついています。

地上では、お月見のお団子をうさぎが供えています。すすきの穂が揺れる秋の月夜です。絵を描くこと、書道が大好きという男の子が描いて下さいました。泳ぐことも、得意と教えて下さいました。

楽しい秋の月夜の素敵な表紙です。

院長はじめ、スタッフ一同、心より感謝いたします。

ありがとうございました。



豊郷 Tachikawa Clinic

たちかわ皮膚科クリニック*

「努力は必ず報われる」という言葉は誰しもどこかで一度は耳にしたことがあると思います。このワードに関して2人の有名人が全く別の場面でおっしゃった言葉に興味を抱いたので紹介します。

S氏（超有名タレント）：

「努力は報われると思う人はダメですね。努力を努力と思っている人は大体間違い。好きだからやっているだけだよ、で終わっといた方がええねん。これが報われると思うとよくない。こんだけ努力しているのになんでってなると腹が立つやろ。人は見返りを求めるところがない。見返り無しで出来る人が一番素敵な人やね。」

O氏（誰でもご存知 元プロ野球選手）：

「努力が報われないことなどあるだろうか。報われない努力があるとすればそれはまだ努力とは呼べない。」

冒頭S氏は努力は報われると思っている人はダメだと否定している。一方O氏は努力は報われる。但し、結果報われなかったのであれば、それは努力がまだ足りなかったか、努力に値しなかったんだよと言っている。

上記2つの言葉は、一見相反する、もしくは互いを否定しているかのように思えるかも知れません。

しかしはたしてそうでしょうか。私の考えはこうです。

能力とは物事を成し遂げる力のことだと私は思っていると先月の「とよ・たち」に書きました。その能力を一定以上に保つ、又は引き上げるためには努力が必要だと思っています。しかしその努力は的確でなければいけません。闇雲にただ努力しても結果はかなり報われにくくなります。従って努力を報われる様にするには見当違いの努力はしないことです。では、人は何故努力をするのでしょうか。それは自分の人生に納得のできる結果をもたらしたいからだと思います。まさにこの事が、先月号にも書いた稲森氏のおっしゃるところの人生（仕事）の結果＝考え方×熱意×能力であり、これが重要なのです。しかし、この式のどこにも努力という言葉はありません。先に述べた様に努力は能力の中に隠されているのです。別の言い方をすれば「努力した」というだけでは、まだまだ人生（仕事）の結果などは出ない。すなわち報われなくても当然です。

そこに足りないのは、熱意であり「正しい」考え方なのです。

「正しい」考え方とは進むべき方向性のことです。どんなに熱意や能力を育てても負の考

え方をしているは上記の式は大きくマイナスになります。「努力は報われると思う人はダメですね」という S 氏の言葉はこの事を言っているのだと思います。言い換えれば、努力と言うワードに対する心術の違いだけであって、S 氏も O 氏も同様な事を言っているのです。努力をただで結果は出やしない。努力をしたということは、まだまだ能力の一部をほんの少し鍛えただけにすぎず、結果はまだまだ先にあるのです。

NHK 大河ドラマで人気の黒田官兵衛の教訓に「水五訓」というものがあります。水は環境によって変化し形を変えるが、循環し絶えることはない。それを人の一生に置換し生き方を説いたものでしょう。

- 一. 自ら活動して他を動かしむるは水なり。
- 二. 障害にあい、激しくその勢力を百倍し得るは水なり。
- 三. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり。
- 四. 自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり。
- 五. 洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり、
雪と変じ霧と化し疑っては玲瓏たる鏡となりたえるも其性を失わざるは水なり。

院長・拝